

岐阜県の地震体験車に当行の広告ラッピングを行いました

当行は、岐阜県が13年ぶりに導入した地震体験車にSDGsを用いた広告ラッピングを行いました。

防災啓発はSDGsの目標11「住み続けられるまちづくりを」に通じる取組みであることや、当行としても4月より地域創生部内にSDGs推進室を設置し、SDGsへの取組みをこれまで以上に推進していく考えから、SDGsをテーマとしたデザインとなっております。

新しい地震体験車は、今後発生しうる県内の断層地震を想定した揺れが体験できるほか、東日本大震災を引き起こした東北地方太平洋沖地震や熊本地震など過去に発生した地震の揺れも再現することができます。また、揺れを発生させる装置の動力源をリチウムイオン電池に変更し、これまでの体験車と違い排気ガスや騒音が出ないことから、屋内で体験装置が運用できます。また、災害時には電源車としての活用も可能となっております。

今後も当行は岐阜県と共に防災やSDGsの啓発を行ってまいります。

<地震体験車>

